

第63回 亀岡清泉荘 運営推進会議 議事録

令和6年1月19日 14時00分 ～ 15時30分 於：曾我部町公民館

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
-----------	-------------	-----------	-------------

出席者 亀岡市高齢福祉課・藤谷さま、松村さま、南部地域包括支援センター・西村さま
 曾我部町自治会長・法貴さま 副会長・中西さま、南条区長・並河さま
 民生委員・大石さま、原田さま、亀岡清泉荘・宮崎・中村、村田

欠席者、犬飼区長・石野さま、夫婦池区長・河島さま
 利用者さまご家族・並河さま、利用者さまご家族・伊藤さま、

1. 事業所自己評価改善課題、サービス評価総括表の報告

質問・要望・助言	回答・対応
利用者に寄り添った内容のサービス提供、地域の防災の取組に参加し、連携の取り組みをすることが望ましい。	今後自治会、自主防災会等に相談しながら連携していきたい。
ケアプランは一人一人のものか、全体のものになるのか。	お一人お一人の状況に合わせて3ヵ月～6ヵ月の短期目標と1年間の長期目標を立ててサービスを提供している。
ICT、ロボットは使用すれば、どれくらいの効果が出ているか。 ICT、介護ロボット等の導入に期待したい。	現時点では数値目標の設定や評価はしていないが、生産性向上の指標が行政から示されているので、効果測定の方法など情報収集を進めながらICT、介護ロボット等が活用できる体制を整備していきたい。
最近、曾我部町で火災が3件発生している、火の元には十分気をつけてほしい。初期消火、火災訓練の実施をお願いしたい。	すぐ近くで発生した火災時には、一気に炎が高く舞い上がるのがホームからも見えて驚いた。日々の災害防止の取り組みと訓練は計画的・定期的に行っていきます。

2. 別紙報告事項

質問・要望・助言	回答・対応
入居者が入れ替わるのはこういった事情で入れ替わるのか	長期の入院、施設入所の場合が多いが、お亡くなりになるケースもある。
食事の栄養管理はどのようにしているのか。	食材は専門の給食業者から配達を受け、レシピに基づいて提供している。栄養管理については、お一人お一人の状況に合わせてカロリーや、塩分、糖分など考慮して提供している。
食事の際の誤嚥について注意できているか。	誤嚥、のど詰りなどリスクがある方には、キザミ、とろみなど使って提供するとともに

	に、食事の時の見守りには十分注意している。
報告書には多数の会議が開催されているが、多すぎるのではないかと、時間もかかるのでまとめるなどできないか。	小規模多機能、グループホームとも介護保険上、毎月開催する必要な会議がある。その会議の準備の会議も必要であり、どうしても多くなってしまう。ただ、虐待防止、身体拘束廃止、感染防止などの会議も義務づけられているが、これらは定例の会議の中で意見交換するようにしている。
この会議の目的を再確認する必要がある。	自治会区長は輪番で参加されるので、都度目的など文書でお伝えするようにします。
清泉荘の利用について待機している方はおられるのか。	小規模、グループホームとも何名かの方が利用をお待ち頂くことがある。ただ、複数の事業所を申し込まれているので、待機されている間に他の事業所のサービスの利用を開始されることも少なからずある。
介護認定が受けられない方、認知症の方など、介護サービスの利用ができない方がいる。そういった人たちが困っていることをよく聞くが、清泉荘ではどう対応しているのか。	介護保険制度では、要支援・要介護の認定を受けている方（認定申請をしていれば償還払いで）の利用を受け入れることができる。地域包括支援センター若しくは居宅介護支援事業所のケアマネージャーを経由してのサービス利用を受け入れている。
コロナの期間、3年間は高齢者に色々な影響が出ている。環境を整えば在宅でも生活が続けることができるが、環境が変わると悪化することもある。介護予防、重度化を遅らせることを地域で考えていくことが大切になっている。	清泉荘としても、介護予防、フレイル予防などの情報提供ができるよう、老人クラブ等に働きかけていきたい。
次回、運営推進会議は令和6年6月下旬以降の平日開催予定で調整・連絡いたします。	